

結婚式での御祝^{おいわい}の言葉や、お葬式での喪主様のお礼の言葉など、さまざまな場面で挨拶を聞かせていただくことがあります。結婚式での新郎新婦への心のこもった祝^{しゅくふく}福の言葉や、お葬式での故人に対する御厚情^{ごこうじょう}に感謝を述べる言葉など、大変上手な挨拶に、深い感銘^{かんめい}を受けることもしばしばです。

また、現代社会では学校での研究発表や職場での業務報告など、自分自身が話をする機会がとても多いのではないのでしょうか。

書店では、「困ったときの挨拶の仕方」や「上手なスピーチの方法」などというような書籍がたくさん並んでいますので、そういった本に学ばれる方も多いことでしょう。

このように、自分の考えや思いを述べることに関しては、上達しているように見えますが、普段の生活の中で、人と人との出会った時の挨拶はどうでしょうか？

朝早く散歩をしていて、知らない人と出会ったら、皆さんはどうされますか？知らない人だからと下を向いて気付かないふりをして通り過ぎてしまうのでしょうか。それとも、自分から「おはようございます」と声をかけますか。あるいは、相手から声がかかってから返事をしようとするのでしょうか。

また、ご家庭ではいかがでしょうか？ 親子や夫婦など、家族はお互い一緒にいることが当たり前だと思い、「おはようございます」と声をかけ合うことをしなくなっ
てはいませんか。

挨拶をすることもしないことも、人それぞれ考え方があり、それはあくまでも個人の自由でしょう。

しかし、「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」など、何気ない一言の挨拶を交わすと、なぜかお互い気持ち良くなるものです。

挨拶とは、もともと禅^{ぜん}の言葉で、挨^{あい}の字も、拶^{さつ}の字も、積極的に相手にせまってゆくこと、という意味があります。挨拶をすることや、その挨拶に答えることは、お互いに一歩相手に近づくことなのです。

もし、私たちの暮らしに挨拶がなかったらどうでしょう。沈黙^{ちんもく}しているか、用件だけの冷たい会話になってしまいます。日々互いに仲良く暮らしていくためには、挨拶という潤^{うるお}いの言葉が必要なのです。